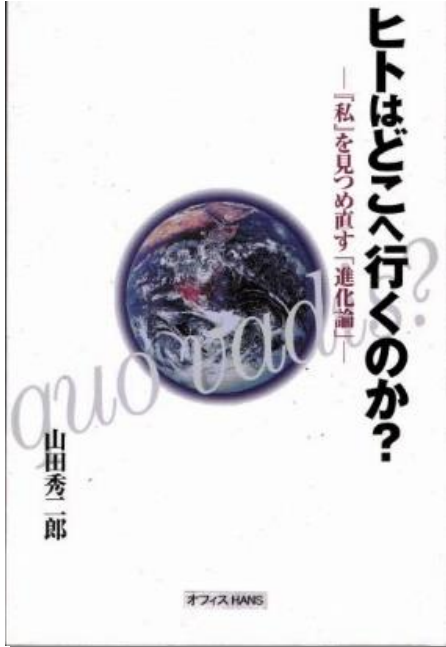


ヒトはどこへ行くのか

—『私』を見つめ直す「進化論」

山田秀二郎・著 四六判 198 ページ 定価(本体 1,700 円+税)



人口増加, 石油エネルギーの枯渇, 環境破壊, そして果てしない紛争…。人類が直面している課題は大きく重い。

人類はどこまで発展を続け, いつまでこのままの地球環境を維持できるのか, そして, 未来に向かってどのような選択をすべきなのか。

それを明確にしていくための一つの方法として, これまでの生物の進化を見ることで, 人は自分自身を知ることができるかもしれない。

本書は, 誕生から現在に至る数十億年の生物の進化を独自の視点から見つめ直し, 進化の中に人の実像を探るユニークな「進化論」である。

●内容

プロローグ(人がサルになったとき)／Part.1 生命の誕生と発展／Part.2 人類への道／Part.3 ヒトの系譜／Part.4 新人の残したもの／Part.5 ヒトはどこへ行くのか／エピローグ(人類の英知と未来)

(主な話題)

DNA が先かタンパク質が先か／酸素は毒ガスだった?／全人類の母, ミトコンドリア・イヴ／言葉の遺伝と学習／農業は人類を救ったか?／進化と生態系